

異文化理解のための美術教育の課題 日本画の画材を通して

蝦名敦子

フルブライト・メモリアル基金米国教育視察団を対象とした2度の授業実践を振り返り、日本画の伝統や特色の理解について、具体的にどのような授業が可能かを考察。臨画や模写の習得法は、本来素材や用具、造形的特質と密接に関連し合っている。本テーマの課題として、これまでの教育的アプローチも含めて、現代の視点から、改めてトータルに見直す必要があること、異文化と対比させながら世界的視野の中で捉える重要性を指摘した。